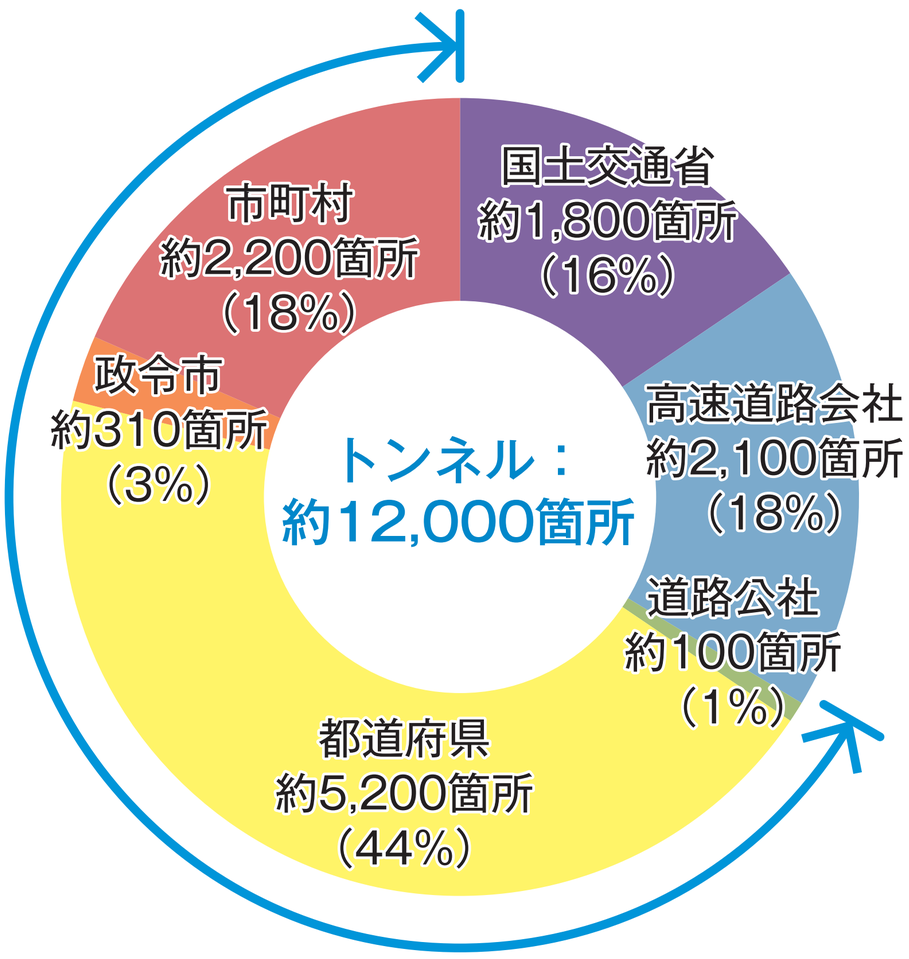
地方公共団体が全体の7割を管理

トンネルの現状



● 全国のトンネルは約1.2万箇所。そのうち約7割を地方公共団体が管理

道路管理者別



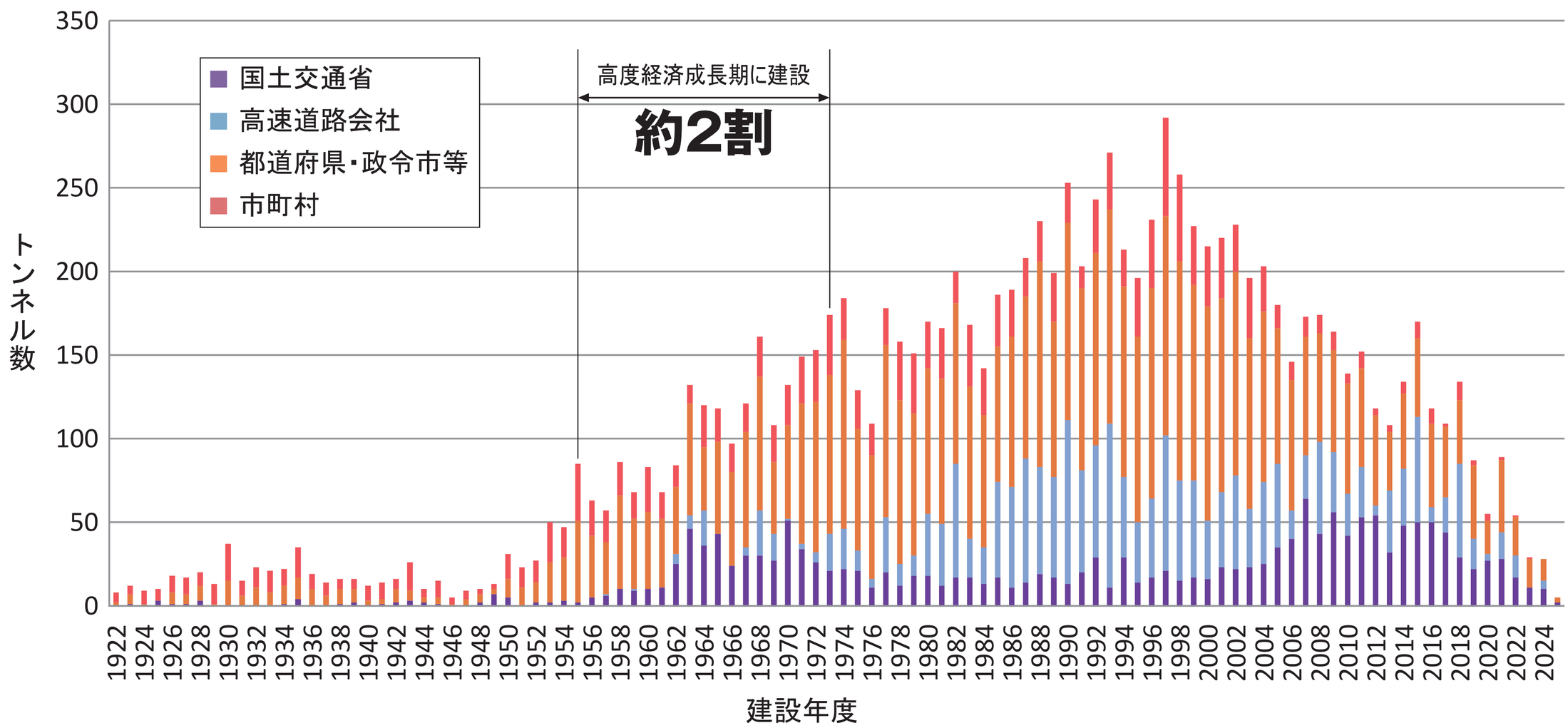
地方公共団体管理約0.8万箇所
（66%）



（トンネル点検の様子）

● 高度経済成長期よりも以前に建設されたトンネルも多く、高齢化が進んでいる

建設年度別トンネル数（全国）



※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルが約220箇所ある

（出典）2026.8道路メンテナンス年報
国土交通省調べ（2026.3末時点）

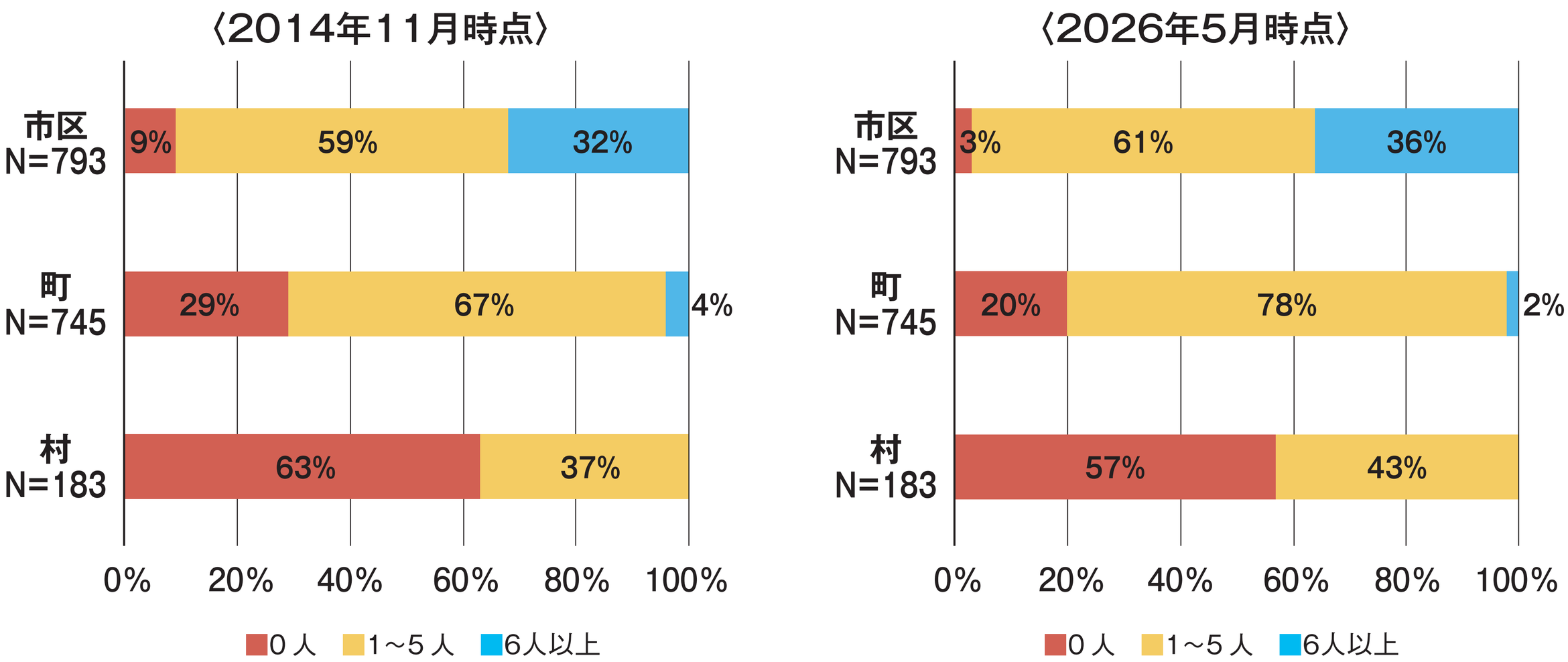
老朽化対策の課題

地方公共団体の現状



● 町の約2割、村の約6割で橋梁管理に携わっている土木技術者が存在しない

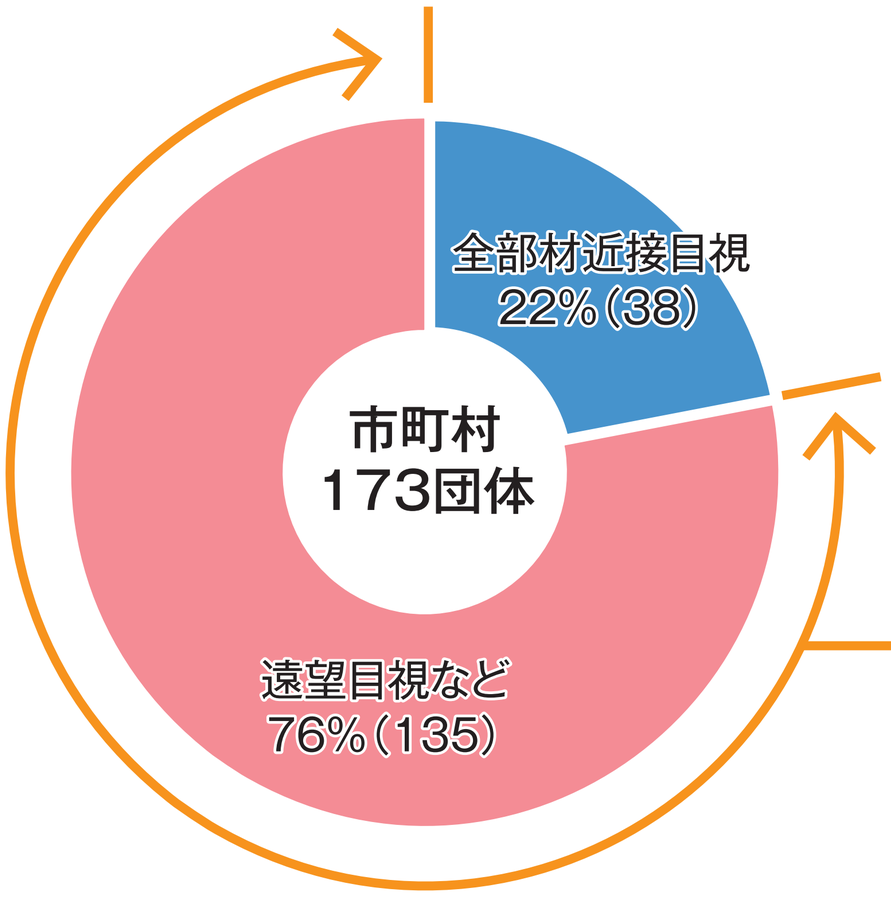
市区町村における橋梁管理に携わる土木技術者数



（出典）2026.8道路メンテナンス年報

● 平成26年定期点検要領策定以前の地方公共団体の橋梁点検要領では、遠望目視による点検も多く（約8割）、点検の質に問題がありました

地方公共団体が用いている橋梁点検要領の点検方法（平成26年定期点検要領策定以前）



点検の質が問題となった事例

ある市において、遠望目視で点検した約50橋を対象に、第三者機関が近接目視による点検を実施したところ、約3割で点検結果が異なっていた

約８割が「遠望目視など」

（出典）社会資本整備審議会道路文科会「第44回基本政策部会」資料
※道路局調べ（平成25年度10月）